

聖ヨハネ・ボスコの

# 3日間の祈り

「晩の祈り」とともに



～トリドウムの流れ～

初めの祈り

賛歌 あるいは 聖ヨハネ・ボスコへの祈り

詩編交唱

神のことば 当日のもの あるいは固有のもの (しばらく沈黙)

ドン・ボスコの遺言の抜粋の朗読 (しばらく沈黙)

聖母賛歌マニフィカト

共同祈願

主の祈り

祈り

祝福

派遣

# 1 日目

## ●初めの祈り

## ●賛歌 あるいは 聖ヨハネ・ボスコへの祈り

聖ヨハネ・ボスコ、  
あなたは 主イエスの愛といつくしみにならい、  
助けを必要とする青少年と共に生き、  
夢と希望を与えられました。  
わたしたちにも、温かい愛と知恵をもって  
生きる喜びと力を与えてください。  
聖母マリアのご保護によって、  
たくましさとおだやかな心をもつことができるよう、  
わたしたちのためにお祈りください。  
アーメン。

## ●詩編交唱

## ●神のことば ヨハネによる福音 12章 35～36節

イエスは言われた。「光は、いましばらく、あなたがたの間にある。暗闇に追いつかれないように、光のあるうちに歩きなさい。暗闇の中を歩く者は、自分がどこへ行くのか分からない。光の子となるために、光のあるうちに、光を信じなさい。」

## ●聖ヨハネ・ボスコの遺言の抜粋の朗読

この世を永遠に離れてしまう前に、私はあなた方に対する義務を果たしておきたいと思います。こうして私の心からの強い望みをかなえたいと思っているのです。まず、私の魂からくる燃えるような愛情をもって、あなた方にお礼を言いたい。私に対する従順に感謝。そして、私たちの修道会を支え、繁栄させるため、あなた方がしてくれたすべてのことに感謝します。私はこの世を離れ、あなた方のもとを離れます。しかし、ほんの少しの間、離れ離れになるだけです。神の計り知れないあわれみが、いつか私たち全員を天国で再会させてくれるよう願っています。天国であなた方を待っています。

私の死に際して、深く悲しまないでください。これは借金のようなものです。私たちはすべて返さなければならないのです。しかし返済が終われば、主人への愛のために耐えてきた労苦は、どんなものも大いに報いられるでしょう。涙にくれるかわりに、あなた方は、自分の召命を死ぬまでゆらぐことなく保ち続けることができるよう、決意をかためてください。

世俗的な愛や両親の愛情、より心地よい生活を求める気持ちにそそのかされて、聖なる誓願をけがすという大きな過ちをおかしてしまわないよう、十分注意してください。また、あなた自身を神に捧げると誓ったその信仰の誓約を破ることがないように。神に捧げたものは、何一つとして取り戻そうとしてはいけません。

もしもこれまで私を愛してくれてきたのならば、これからも会憲を遵守することで、私を愛し続けてください。あなた方の最初の総長は亡くなっても、私たちの真の長上であるイエス・キリストは決して死ぬことはありません。彼はいつまでも私たちの主人、指導者、手本です。ただ、忘れないでください。彼は、ご自分のタイミングで、私たちを裁く方にもなられますし、彼に仕えた私たちの忠実さに報いる方にもなられます。

あなた方の総長は亡くなります。しかし、別の方が選ばれるでしょう。その方があなた方の世話をし、あなた方の永遠の救いについても心配してくださるでしょう。その方の言うことを聞き、愛し、従ってください。私にしてくれたように、その方のためにも祈ってください。

さようなら、愛する子どもたち、さようなら。天国であなた方を待っています。天国で一緒に、神様について、マリアについて話しましょう。私たちの会の母であり扶助者であるマリア様について。ともに、私たちのこの会を天国から永遠に見守ることにしましょう。会則を遵守したことが、私たちの救いに力強く、効果的に作用することでしょう。

## 聖母賛歌マニフィカト

### 共同祈願

### 主の祈り

### 祈り 当日のもの

あるいは

父である神よ、  
あなたは、いつくしみ深いはからいによって、  
聖ヨハネ・ボスコを青少年の父、教育者として  
わたしたちにお与えになりました。  
聖ヨハネ・ボスコは、おとめマリアの導きのもと、  
疲れにうち勝つ熱意をもって、教会のために働きました。  
わたしたちもあなたに仕え、人々の救いのために献身できるよう  
同じ使徒的愛に燃え立たせてください。  
わたしたちの主イエス・キリストによって アーメン

### 祝福

### 派遣

## 2 日目

### ●初めの祈り

### ●賛歌 あるいは 聖ヨハネ・ボスコへの祈り

聖ヨハネ・ボスコ、  
あなたは 主イエスの愛といつくしみにならい、  
助けを必要とする青少年と共に生き、  
夢と希望を与えられました。  
わたしたちにも、温かい愛と知恵をもって  
生きる喜びと力を与えてください。  
聖母マリアのご保護によって、  
たくましさとおだやかな心をもつことができるよう、  
わたしたちのためにお祈りください。  
アーメン。

### ●詩編交唱

### ●神のことば ヨハネによる福音 7章14～18節

祭りも既に半ばになったころ、イエスは神殿の境内に上って行って、教え始められた。ユダヤ人たちが驚いて、「この人は、学問をしたわけでもないのに、どうして聖書をこんなによく知っているのだろう」と言うと、イエスは答えて言われた。「わたしの教えは、自分の教えではなく、わたしをお遣わしになった方の教えである。この方の御心を行おうとする者は、わたしの教えが神から出たものか、わたしが勝手に話しているのか、分かるはずである。自分勝手に話す者は、自分の栄光を求める。しかし、自分をお遣わしになった方の栄光を求める者は真実な人であり、その人には不義がない。」

## ●聖ヨハネ・ボスコの遺言の抜粋の朗読

### 会員の皆さんへの特別なアドヴァイス

1. 私のすべての息子たちに対して、心から忠告しておきたいことがあります。どんなことがあってもドン・ボスコは神から恩恵を得たとか奇跡を起こしたなどと言わないように気をつけてください。そのようなことを断言してはいけませんし、発言しても書いてもいけません。そんなことをしたら危険な過ちを犯すことになるでしょう。確かに、神様は私に対して寛大でしたが、しかしながら、私は一度たりとも超自然のことを知ろうとしたことはありませんし、人間離れしたわざを行おうとしたこともありません。私がしてきたことと言えば、他でもなく、祈ることだけです。また、他の善良な魂にも、恵みを求めて祈ってくださいとお願いしました。祈りはいつでも有効でしたし、若者たちとのかかわりも成功の秘訣だったと思っています。

助けが必要だったときには、あわれみの神と、神の母聖マリアが、私たちに助けに来てくださいました。これは本当です。とくに、私たちの貧しく見捨てられた少年たちを養うためとか、あるいは彼らの魂が危険にさらされているときなどは必ず、助けに来てくださいました。

2. 私たちが引き続きマリア様に信頼し、マリア様への信心を広め続けるならば、聖なるおとめマリアは、間違いなく、今後も私たちの会とサレジオ家族の活動を保護してくださるでしょう。聖母の祝日には心をこめて祝い、大切にしなければなりません。公式にも非公式にも、です。もちろん聖母のための式典やノヴェナ、三日間の静修、彼女に捧げられた月もそうです。冊子を作ったり、本を出版したり、メダイや御絵を用意して、天国の私たちの後援者が悩み苦しむ人間たちの願いをいつでも聞き入れてくださるということ、その恵みや祝福について、文章にして発行したり、人々に語ったりしましょう。

3. 私たちにとって恵みの源となる行為が二つあります。機会さえあればいつでも、しかもできるだけ早いうちから、私たちの若い教え子たちに秘跡を受けさせること、またマリア様のための信心業を行うことを奨励することです。ミサ聖祭に熱心に耳を傾けること、ご聖体のイエスを訪問すること、頻繁に聖体を拝領すること、あるいは少なくともイエス様と霊的な交流を持つことは、マリア様を大いに喜ばす行為ですし、特別な恵みを得るために大きな意味をもつ行為です。

## 聖母賛歌マニフィカト

### 共同祈願

### 主の祈り

### 祈り 当日のもの

あるいは

父である神よ、  
あなたは、いつくしみ深いはからいによって、  
聖ヨハネ・ボスコを青少年の父、教育者として  
わたしたちにお与えになりました。  
聖ヨハネ・ボスコは、おとめマリアの導きのもと、  
疲れにうち勝つ熱意をもって、教会のために働きました。  
わたしたちもあなたに仕え、人々の救いのために献身できるよう  
同じ使徒的愛に燃え立たせてください。  
わたしたちの主イエス・キリストによって アーメン

### 祝福

### 派遣

## 3 日目

### ●初めの祈り

### ●賛歌 あるいは 聖ヨハネ・ボスコへの祈り

聖ヨハネ・ボスコ、  
あなたは 主イエスの愛といつくしみにならい、  
助けを必要とする青少年と共に生き、  
夢と希望を与えられました。  
わたしたちにも、温かい愛と知恵をもって  
生きる喜びと力を与えてください。  
聖母マリアのご保護によって、  
たくましさとおだやかな心をもつことができるよう、  
わたしたちのためにお祈りください。  
アーメン。

### ●詩編交唱

### ●神のことば ヨハネによる福音 15章12～17節

わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。これがわたしの掟である。友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない。わたしの命じることを行うならば、あなたがたはわたしの友である。もはや、わたしはあなたがたを僕とは呼ばない。僕は主人が何をしているか知らないからである。わたしはあなたがたを友と呼ぶ。父から聞いたことをすべてあなたがたに知らせたからである。

あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだ。あなたがたが出かけて行って実を結び、その実が残るようにと、また、わたしの名によって父に願うものは何でも与えられるようにと、わたしがあなたがたを任命したのである。

互いに愛し合いなさい。これがわたしの命令である。

## ●聖ヨハネ・ボスコの遺言の抜粋の朗読

神の摂理が私たちの修道会に幸せな未来を準備しています。会則が忠実に守られる限りは、会の名声も持ちこたえていくことでしょう。

私たちの間に金銭的なゆとりとか快樂を求める気持ちが生まれたとき、私たちの敬虔な会は役割を果たし終え、消えていくことになるでしょう。

私たちの仕事が、成長過程にある人々のため、貧しい子どもたちのため、危機にさらされた社会の一員のためのものである限りは、世間はいつでも私たちのことを歓迎するでしょう。これこそ、私たちの本当の富です。誰かが妬むこともなければ、誰かが私たちから奪うこともありません。

新しい修道院は、それを管理するのに必要な人員がいけないときには建ててはいけません。それほど離れていない場所にいくつもの修道院があってははいけません。修道院どうしの距離が離れていたほうがリスクを抑えることができます。

新たな国で海外宣教を始めるときには、いったん始めたものは、精力を注ぎ、犠牲を払って続けてください。常に、学校を設立すること、そして聖職者への召命を探し求めること、あるいは女子の間からはシスターへの召命を求めることに、私たちの労力は使われるべきです。

時が経てば、私たちは中国（より厳密に言えば、北京）での宣教にも導かれることでしょう。ただし、私たちは、貧しい少年たち、見捨てられた少年たちのために存在しているのだということを決して忘れないようにしましょう。あなた方は、まことの神について少ししか知らない人々、あるいはまったく知らない人々の間で驚くべき出来事が起こるのを目の当たりにするでしょう。以前だったら信じられないようなことです。しかし、それは、全能の神が世界に向けてはっきりと示そうとされていることなのです。

自分たちに必要な住居以外には財産を所有しないようにしましょう。

何らかの宗教的な事業をするのに資金が足りないときには、その企画はとりあえず保留にしておくべきですが、すでに始められている仕事ならば、資金が融通されしだい、また犠牲が払われればすぐにでも、継続してください。

一人のサレジオ会員が、人々の魂のために働いている間に自分の命を与えるなどということがあれば、サレジオ会は偉大な勝利の記録を作ったと言えるでしょうし、サレジオ会の上には天国からありあまるほどお恵みがくだると言えるでしょう。

## 聖母賛歌マニフィカト

### 共同祈願

### 主の祈り

### 祈り 当日のもの

あるいは

父である神よ、  
あなたは、いつくしみ深いはからいによって、  
聖ヨハネ・ボスコを青少年の父、教育者として  
わたしたちにお与えになりました。  
聖ヨハネ・ボスコは、おとめマリアの導きのもと、  
疲れにうち勝つ熱意をもって、教会のために働きました。  
わたしたちもあなたに仕え、人々の救いのために献身できるよう  
同じ使徒的愛に燃え立たせてください。  
わたしたちの主イエス・キリストによって アーメン

### 祝福

### 派遣



聖ヨハネ・ボスコの  
3日間の祈り

「晩の祈り」とともに

総括：濱口秀昭

構成：岡道信

編集：深川信一

資料提供：山野内倫昭

発行：サレジオ神学院

2015年1月31日